

リスク が 事業用車輌 には ぱい



もしも 万一の事故が。

企業活動の基盤として不可欠なのが事業用車輌。しかし、もしも交通事故が発生した際、事業用車輌の損壊、積載物被害、従業員或いは他者の負傷、最悪の場合は死亡だって…。損害賠償責任に加え、対外的な企業イメージの失墜は受注減少を招くおそれもあり、企業活動への影響は極めて甚大と言えます。

いつも 車の燃料代が。

事業用車輌における燃料代は、経営責任者にとって最も頭が痛い問題のひとつではないでしょうか。車を動かさなければ売上が上がらない会社の場合は特に深刻です。特にここ数年の燃油代高騰は、価格転嫁どころか値下げを要求される多くの企業にとって、重大な利益圧迫となり、死活問題とさえ言えます。



ポイントは
ドライバーの意識改革と
講習内容の持続!

リスクから 会社を守ります

二種免許ドライバーも養成する「羽生モータースクール」で事業用車輌のリスクを回避しませんか? ふだんの何気ない運転、いつもの運転を科学的な根拠に基づき見直す「安全運転講習」や「エコドライブ講習」を受講することにより、ドライバーの運転技術と安全意識が向上し、劇的にリスクを緩和し燃料代を大幅にカットすることができます。

これら講習のポイントは、運転に関する意識改革と、講習内容の持続!

同じ安全講習を受けても事故を起こすドライバーもいれば、起こさないドライバーもいます。その差は運転に対する意識改革が出来るか、講習で身に付けた内容を持続できるかによって決まります。羽生モータースクールの講習は運転技能に加えて意識改革を重点にしており、安全に車を運転するための運転マナー、接客・笑顔、車をいつもきれいに掃除しておくことの大切さを学びます。自分の人生設計の中から今の仕事の大切さ、安全運転の重要性をとらえ直す機会にしてもらいます。

二種免許教習インストラクターが あなたの会社の安全と安心を守ります!

教習所が二種免許の指定を得るためには、免許センターでの技能試験で卒業生が10人以上連続、しかも初回受験で合格しなければならないという難関です。そこでは自分の走行車線のみならず対向車線の渋滞にひそむ危険予測や、急な危険を察知した時でも乗客に衝撃を与えないよう、短い距離で衝撃なく止まるという物理的に相反する事象も可能にする最高峰の運転能力が要求されます。

羽生モータースクールでは二種免許の指定を承認された高い教育力とともに、普通二種ならびに大型二種の教習に携わる資質の高いインストラクターが企業講習を担当します。



Smile in HANYU

FROM THE RISK
THE COMPANY IS
DEFENDED.



Smile in HANYU 02